

子どもたちに夢と希望を届ける  
**南極クラス**  
**Antarctic Class**

- 本物に触れる
- 地球を知る
- 体験でわかる
- 仲間と学ぶ
- 未来を創る



写真①

南極先生（ミサワホームの南極地域観測隊員経験者）が教える  
**「本物」**の南極を学び、「**体験**」する教育支援プログラム



写真②



体育館での講演風景

講師自らの体験を語り、多くの写真、動画、実験を交えて講演を行います。



写真④



写真③



写真⑤

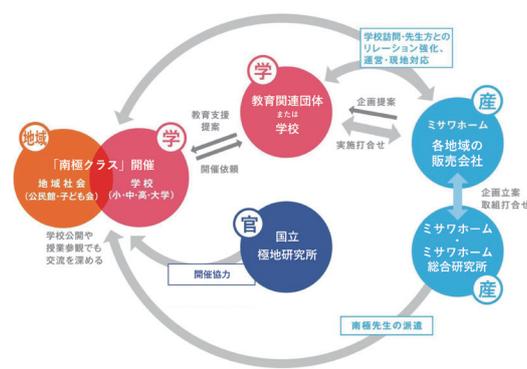
南極クラスは、その取組、活動が評価され、2013年グッドデザイン賞、2013年キッズデザイン賞、第12回キャリア教育アワード（優秀賞）を受賞しています。

被災地支援からはじまった、「産・官・学・地域」一体の協力体制

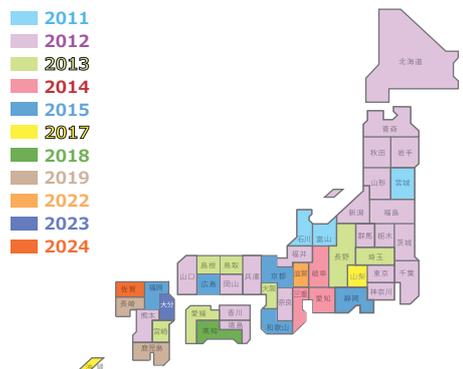
■みんなの想いが一つになって実現

東日本大震災、特に津波襲来地域の壊滅的状况を見て、全てを流されてしまった子ども達に、私たちは直接夢や希望を与えることはできないけれど、それでも何とかしてあげたいと想った事が、この活動の発端です。  
 その想いに賛同した産・官・学・地域の各団体が一体となって初めて実現しました。  
 開催校の経済的負担を極力低減するなど、それぞれがお互いに協力し合い、少しでも多くの子ども達に伝えられるように、様々な工夫を重ねています。  
 2011年9月の宮城県での初開催から現在までの開催実績は、2,524校 244,430人です。  
 (2025年3月末見込 集計日：2025年2月19日)

【取組フロー図】



【全国の初回実施年度】



# 教育支援プログラム「南極クラス」の概要

## 【ミサワホームと南極】

ミサワホームでは、1968年 第10居住棟の受注以来、現在までに36棟、約5,900㎡の建物を供給してまいりました。地球上で最も厳しい環境の一つである南極で、長年に亘る建物供給を通して技術開発に取り組み、その培った技術を国内の建物に活かしてきております。

また、南極地域観測隊には、ミサワホームグループから合計20名（※1）が今までに参加しております。現在、1名が第66次南極地域観測隊員として越冬中です。彼らは、設営の専門家の隊員として活動を行いますが、限られた人数で隊員活動をしなくてはならないため、各自の専門分野以外でも協力し合う事が求められます。全員で支えあうチームワークがとても大切です。 （※1）2025年2月末現在

## 【教育支援プログラム 南極クラスについて】

弊社では、この南極での貴重な経験を、より多くの方々に知っていただきたいと思っております。南極観測に対し興味をお持ちいただき、ご理解していただくための活動は、私たちの一つの使命と思っており、社会貢献活動として取り組んでおります。

特に未来を背負う子供たちには、南極での様々な活動を知って、将来の夢や希望につながればと願っております。また、隊員同士、人と人が支えあってミッションを仕上げていくこと、チームワークの大切さを、私たちの隊員の経験からお伝えできればと考えております。

この様な取組として教育支援プログラム「南極クラス」を提供させていただき、学校・教育関係団体様及び各学校生活協同組合様等の教育支援のお役に立ちたいと考えております。

- ①費用について： 無料（講演料、旅費交通費等は一切不要です）
- ②講演時間： 原則2校時（45分+45分）で実施しています。
- ③お申込： 現地ミサホームスタッフとご相談ください。開催希望日の2か月前までが期限となりますので、お早目にご相談ください。
- ④感染防止対策： 感染防止対策は、主催者にてご対応くださりますようお願いいたします。

## 【取組のきっかけ】

2011年3月11日、東日本大震災。特に津波被災地域では、甚大な被害に遭い、その惨状は想像を絶するものでした。その惨状を、故郷を、これから何年も何十年もかけて復興して行く中心となるのは、被災した当時の子ども達だと思いました。

しかし、私たちはいったい何ができるのか？と考えた時に、幸いにも、ミサワホームグループ社員には、努力して自らの夢を叶え、極寒の地で培った絆と様々な経験を持つ、元南極地域観測隊員の社員がいます。その彼らが講師となって、自らの言葉で、子ども達に語りかければ必ず伝わるものがあるはず。講師一人一人それぞれが自らの経験に基づくメッセージを子ども達へ投げかけることで、その言葉を聞いた子ども達が、自分自身の夢や希望を考えてもらいたい。また、今現在、夢や希望をそれほど考えていない子ども達は、大人になってから初めて夢をもって、その夢を実現するために努力した講師の話を読み、自分の可能性について自信を持ってもらいたい。この様な願いのもと、南極クラスが誕生しました。

## 【お問い合わせ先】